

1. 概 要

□平成12年度

◎職員等の移動

- ・ 吉岡正文事務掛長が附属病院管理課第二調度へ転出、清水事務主任が国立曾爾少年自然の家庶務課会計係長に昇任し転出、小西喜久男経理部経理課支出掛主任が掛長に昇任し着任、井上雅義事務官が医学部附属病院給与掛から着任(平成13年4月1日)。
- ・ 梶昭太氏・河村真理子氏が博士前期課程に入学(平成13年4月1日)。

◎行事・来訪者

- ・ 国立大学臨海臨湖実験所長会議(春季)(於北大学士会館, 東京), 白山義久所長出席(平成12年4月18日-4月19日)。
- ・ 共同研究者として M.H. Mona 氏(タンタ大学教授, エジプト)来日(7月1日-9月30日)。
- ・ 外来研究者として M.Z. Eva 氏(サザンプトン大学, 英国)来日(7月30日-8月20日)。
- ・ 公開臨海実習外国人講師として R.M. Kristensen 氏(コペンハーゲン大学教授, デンマーク)来日(9月25日-10月3日)。
- ・ 京都大学招へい外国人学者として Susetiono 氏(インドネシア科学院・海洋学研究開発センター副所長)来日(10月25日-11月10日)。
- ・ 京都大学招へい研究者として A.V. Adrianov 氏(ロシア科学アカデミー極東支所海洋生物学研究所研究主任, ロシア極東州立大学教授)来日(10月27日-平成13年5月12日)。
- ・ 日本学術振興会招へい外国人研究者として S.B.M. Long 氏(UNIMAS, マレーシア)来日(11月6日-11月16日)。
- ・ 国立大学臨海臨湖実験所長会議(秋季)及び国立大学臨海臨湖実験所公開臨海実習検討会(於筑波大学下田臨海実験センター, 静岡), 白山義久所長出席(11月7日-11月9日)。
- ・ 防火訓練実施(12月18日)。
- ・ 瀬戸臨海実験所年報13巻, Publication of the Seto Marine Biological Laboratory 第39巻1/2号発行(12月25日)。
- ・ 水族館休館(平成12年12月29日-平成13年1月3日)。
- ・ 水族館開館(1月4日)。
- ・ 拡大運営協議会(於瀬戸臨海実験所)(2月9日)。

2. 臨海実習

□平成12年度

例年の通り、京都大学理学部をはじめ諸大学の臨海実習が下記の通り実施された。

(大学・実習科目・実習期間・受講学生数)

京都大学理学部生物系臨海実習 I	7/27-8/3	延	72人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 I	8/22-8/29	延	48人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 II*	3/23-3/29	延	70人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 III*	3/18-3/23	延	60人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 IV	8/22-8/29	延	72人・日
京都大学院人間環境学研究科海洋化学実習	7/21-7/24	延	96人・日
京都大学院人間環境学研究科生物学臨海実習	2/20-2/23	延	80人・日
京都大学総合人間学部自然環境学科環境分析論実習	7/17-7/20	延	56人・日
京都大学瀬戸臨海実験所公開臨海実習(大学院生対象)	9/26-10/3	延	32人・日
京都大学瀬戸臨海実験所公開臨海実習(学部生対象)	3/2-3/18	延	112人・日